

# 定磁場をもつ非線形 Schrödinger 方程式の大域解について

数学専攻 田中克和  
指導教員 加藤圭一

次の形の定磁場をもつ非線形 Schrödinger 方程式の初期値問題について考える .

$$\begin{cases} i\partial_t u = Lu + \lambda|u|^{p-1}u, & (x, y, t) \in \mathbb{R}^2 \times (-T, T), \\ u(x, y, 0) = u_0(x, y), & (x, y) \in \mathbb{R}^2. \end{cases} \quad (1)$$

ただし,  $T > 0$ ,  $\lambda \neq 0$  とし,  $\lambda > 0$  のとき  $1 < p < \infty$ ,  $\lambda < 0$  のとき  $1 < p < 3$ . また, 作用素  $L$  は次の形をした特殊 Hermite 作用素である .

$$L = \left(-i\partial_x - \frac{y}{2}\right)^2 + \left(-i\partial_y + \frac{x}{2}\right)^2 = -(\partial_x^2 + \partial_y^2) + \frac{1}{4}(x^2 + y^2) - i(x\partial_y - y\partial_x).$$

初期値問題 (1) を考えるため, まず線形の方程式

$$\begin{cases} i\partial_t u = Lu, & (x, y, t) \in \mathbb{R}^2 \times (-T, T), \\ u(x, y, 0) = u_0(x, y), & (x, y) \in \mathbb{R}^2. \end{cases}$$

の解  $U(t)u_0$  を与え, 解作用素  $U(t)$  に関する  $L^p - L^q$  評価式や Strichartz の評価式を導き, (1) の時間局所解の一意存在を示した . さらにエネルギー等式を用いて (1) の時間大域解を得た .

定理 1

$u_0, \partial_x u_0, \partial_y u_0, xu_0, yu_0 \in L^2$  をみたす任意の  $u_0$  に対して, ある正定数  $T$  が存在し,  $(-T, T)$  上で

$$u, \partial_x u, \partial_y u, xu, yu \in C((-T, T); L^2) \cap L^r((-T, T); L^{p+1})$$

をみたす初期値問題 (1) の解  $u$  が一意的に存在する . ただし,  $r$  は

$$\frac{2}{r} = 1 - \frac{2}{p+1}$$

をみたすものとし,  $T$  は定数  $\lambda, p$  と  $\|u_0\|_{L^2}, \|\partial_x u_0\|_{L^2}, \|\partial_y u_0\|_{L^2}, \|xu_0\|_{L^2}, \|yu_0\|_{L^2}$  だけに依存して決まる .

定理 2

$u_0, \partial_x u_0, \partial_y u_0, xu_0, yu_0 \in L^2$  をみたす任意の  $u_0$  に対して, 定理 1 で与えられた (1) の時間局所解  $u$  は時間大域的に一意に延長することができる .

$$u, \partial_x u, \partial_y u, xu, yu \in C(\mathbb{R}; L^2) \cap L^r((-T, T); L^{p+1}), \quad 0 < T < \infty$$

をみたす . さらに, すべての  $t \in \mathbb{R}$  に対してエネルギー等式

$$\|u(t)\|_{L^2} = \|u_0\|_{L^2}, \quad E(u(t)) = E(u_0)$$

が成り立つ . ただし,

$$E(v) = \frac{1}{2} (\|\partial_x v\|_{L^2}^2 + \|\partial_y v\|_{L^2}^2) + \frac{1}{8} (\|xv\|_{L^2}^2 + \|yv\|_{L^2}^2) + \frac{\lambda}{p+1} \|v\|_{L^{p+1}}^{p+1}.$$

参考文献

- [1] 堤誉志雄, 偏微分方程式論, 培風館, 2004.
- [2] M. W. Wong, The Heat Equation for the Hermite Operator on the Heisenberg Group, Hokkaido Mathematical Journal, 2000.
- [3] S. Thangavelu, Lectures on Hermite and Laguerre Expansions, Princeton University Press, 1993.